

情報学委員会国際サイエンスデータ分科会小委員会の設置について

分科会等名：CODATA小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	情報学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>1966年にICSUによって設立されたCODATA (Committee on Data for Science and Technology) は国際的なデータ活動において中心的な役割を果たしてきた。初期の活動は物理常数に代表される基礎的な科学データの評価と整備が中心であったが、近年は気候変動、生物多様性、オープンアクセス等々のグローバルな課題についてのデータ活動へと対象を拡大し、データを通じた科学技術と社会との緊密な関係の構築に向けた活動を展開している。CODATA小委員会は、2003年及び2005年にCODATA/ICSUを通して国連情報社会サミットにおいて提言を行うなどの活動を行ってきた。</p> <p>科学技術データの公共財化、オープンアクセス・オープンデータの動きが進展する中であって、国際動向を踏まえた科学技術データの流通、そして科学技術データ活動の持続可能性確立についての課題と改善方策を検討し、国内における科学技術データの共有と活用の推進を図るとともに国際対応を行うことを目的とする。</p>
4	審議事項	<p>1. CODATA/ICSUへの対応とWDS、IRDR等のICSU組織との連携</p> <p>2. 国内CODATA関連データ活動の連携と活性化</p> <p>3. 国際的な科学技術動向についての調査と国内の科学技術データ活用の状況の検討</p> <p>4. 国内で構築されている知的基盤の国際的な活用の方策に関する検討と提言</p> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成30年2月22日～平成32年9月30日
6	備考	※事実上23期からの継続